



情報メディアセンター ニュース

IT技術を享受出来るシステムに向けて

情報メディアセンター長 山田 澄

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんはもとより在学生の皆さんも、新学期にのぞんで心も新たに希望と期待に大きく胸をふくらませておられるものと思います。

摂南大学の新しい時代を築く象徴的施設として2006年4月にオープンした情報メディアセンターは、機器の更新によりこの4月から最新のIT機器が導入され、学内メールや宿題提出サイトも自宅からアクセスできるようになりました。

センターは単に各種教育施設を一ヶ所に集め最新の情報処理機器を導入しているだけでなく、この施設を利用される皆さんをサポートするためのスタッフを配置し、教員の皆様には授業を円滑に進めていただくための技術支援と講義資料作成支援を行い、学生の皆さんには教育系スタッフによる「学生サポートデスク」を開設しています。特に学生の皆さんには、この施設を有効に利用して頂くため、情報処理教室とCALL教室の一部を自習室として開放し、パソコンやソフトウェア、カラープリンターなど最新のITシステムを利用できる場を提供しています。なお、図書館の1～3階と11号館11階スカイラウンジでは「無線LAN」が利用出来ます。

センターでは皆さんのパソコン活用能力の向上を目的として、レポート作成やプレゼンテーションに必要な定番ソフト等に関する中級・上級者向け講習会「情報リテラシー講座」を定期的に関講いたします。是非、受講されることをお勧めします。

最新のIT機器を存分に活用していただき、高度情報化社会の一員として社会に貢献できるIT技術を身につけていただきたいと願っております。



Web メール利用のすすめ

Web メールは、インターネットに接続すれば、学内外問わず同じ環境で利用できます。受信メールの振り分けの他、携帯電話、パソコンへのメール転送機能がついています。また、オプション設定をすることで、モバイル機器での操作が可能です。授業での教員・学生間の連絡、レポート提出、就職活動での利用等様々な用途に利用されています。すでにユーザーIDをお持ちの学生・教職員の皆さんはいつでも使えますのでご利用ください。

また、教職員の研究用メールは、4月よりWebメールの利用が可能となりました。教職員の方々はこちらをご利用ください。学外からの接続先は次のURLです <https://portal.setsunan.ac.jp/>

Web 履修始まる

4月よりWeb履修システムが稼働しています。情報メディアセンターは主監部署である教務課に協力してシステム開発業者との調整・システム関連に関する事項を担っています。

前年度までの申請書による申請を廃止しWebによる履修に切り替えることで、次のような利点があります。Web履修にログインすると、曜日時限毎に一覧を表示でき、チェックボックスにチェックするだけで選択できます。一覧表示は学則適用年度、コース、クラス、既修得科目を考慮した科目だけが表示されるので、選択が容易です。履修エラーが発生した際は、該当の曜日時限欄が赤く表示され、カーソルを合わせるとエラー内容が表示されるので、エラーの原因が一目でわかります。また、進級卒業仮判定機能もあるので、学生本人が進級または卒業できるだけの履修を行ったかどうか判断できます。学外からもHTTPSにて接続可能なので、期間中に自宅からもWeb履修を実施することが可能です。

情報処理室リニューアル！

2007年4月より、小教室2室(第6, 7情報処理室 各20台)と自習教室(第8情報処理室)のパソコンを48台から120台へと増設しました。また、情報処理室のプリンタは全台カラーレーザープリンタに入れ替え、個人専用領域(マイドキュメント)の増量と学外からの接続が可能となりました。

自宅からマイドキュメント接続できます

マイドキュメント・教材・提出フォルダへ学外から接続できます。教室パソコンでは従来の使い方しかできませんが、教室以外(例えば研究室、学外など)のパソコンから接続するためには次のURLにアクセスすることで簡単に利用できます。

<https://webbox.setsunan.ac.jp> (4月中旬以降利用開始予定)

ログイン画面が表示されますのでユーザーIDとパスワードを入力してください。右の画面が表示され利用開始となります。



eラーニング導入

eラーニングシステムを導入しました。授業での小テストやアンケート等の実施に利用できます。コンテンツの作成についてはスタッフがサポートいたしますのでお問い合わせください。多肢選択方式の他、記述方式があり、ニーズに合ったコンテンツ作成が実現できます。寝屋川学舎、枚方学舎あわせて同時に200ユーザーが利用できます。7月には教員を対象としてコンテンツ作成の講習会を行う予定です。

並列計算100台運転

情報処理室と同時に工学部CAD演習室(10号館4階)で総計110台のパソコンを入れ替えました。ネットワークでつながっていることを利用して、全体を1台のスーパーコンピュータとして働かせることができます。これがScore(エスコア)システムです。Scoreシステムを使えば1つのプログラムの計算を最大110台のパソコンに分散させて計算させることができるため、原理的にはメモリが110倍、速度が110倍の計算ができることとなります。

自習室のご案内

第8情報処理室(10号館4階)



パソコン 120台
プリンタ 4台
開室時間
(授業日) 月～金 9～20時
土 9～17時
(その他) 別途掲示します

OS	Windows XP
アプリケーション	Office2003 Professional Visual Studio 2005 Java2 SDK TeX (WinShell) Auto CAD 2004 JW_CAD

情報処理教室概要

パソコン機種 : 富士通 FMV-D5320
ディスプレイ : 17インチ液晶ディスプレイ
マウス : 光学式マウス
プリンタ機種 : 富士ゼロックス DocuPrintC3540
初期値はモノクロ・トナーセーブモードに設定
OS : Windows XP Professional
Office : Office2003 Professional
第1→2情報処理室、第3→4情報処理室は同時授業が可能(画像・音声対応)(P.5へつづく)

学生サポートデスク

パスワード再発行申請
プリンタの印刷枚数の上限更新
教室パソコン・プリンタ等のトラブル
Word や Excel, PowerPoint 等
アプリケーションソフトの利用方法 他
【場所】10号館4階
【窓口時間】平日 9:00～18:00 土 9:00～17:00

摂南大学の新時代を担う外国語教育施設



外国語教育施設運営委員長 植松 茂男

昨年開設された本学「情報メディアセンター」は、IT 時代に対応する最新の設備を備えた建物ですが、その6、7階にはマルチメディア語学教育施設があり、全学を対象とした外国語教育に主に利用されています。この1年間の感想を交えて、その内容をあらためてここに紹介し、今後の展望や課題を述べたいと思います。

建物の6階部分には、「語学ゼミ室」と呼ばれる定員20名弱の教室が廊下東側（芝生側）に10室配置され、VHS、DVD/CD、カセットレコーダ、モニタ等の機材が設置してあります。机・椅子は可動式になっていて、語学教育だけでなく、各種ゼミやその他ユニークな授業にも利用されています。部屋は少し細長く圧迫感がありますが、マルチメディア教材を駆使した少人数授業が可能です。もちろんLAN端子口もあるので、ノートPCを持ち込んでインターネットも利用できます。

6階廊下の反対側（西側）には、CALL教室が1教室と隣に「CALL準備室」があります（CALLはComputer Assisted Language Laboratoriesの頭文字をとったものです）。残りの南側数教室は通常のAV教室になります。CALL準備室にはスタッフが常駐し、6、7階の授業のサポートや、機材のメンテナンス、教室・教材管理や教材作成補助等を担当しています。上述の「語学ゼミ室」や7階の「小スタジオ」を含む各教室の鍵の貸し出し、管理もここで行われています。CALL準備室には、全世界対応ビデオや衛星放送チューナ等の設備もあります。直接各教室にはリンクしていませんが、必要な編集作業をスタッフに依頼すれば、教材として授業で使ったり学内Web上でのストリーミングが可能です。スタッフの皆さんは毎日目の回るような忙しさの中、親身に教員のサポートに当たって下さり、今や本学の外国語教育になくてはならない存在になりました。



7階にはCALL教室が3室、さらに「小スタジオ」という80名まで収容できる多目的ホールが1室配置されています。CALL教室は6階と合計で4室、228ブースで関西圏では最大規模のものひとつです。これらCALL教室共通の設備としては、CALL基本ソフト（PC@LL）が動作するPC、サーバ、インターネット、VHS、DVD/CD、カセットレコーダ、MD（2教室のみ）等があげられます。教室形態は3室同じですが、7階のCALL第1教室だけはディベート仕様になっています。教室の机椅子（48ブース）がV字型の配置になっていて、2つのグループに分かれて情報提示や討論ができるようになっています。教室前方には各グループ用のPCがそれぞれ1台、Webカメラ、インタラクティブボードなどが配置されています。これらを使いグループごとに資料提示をしたり、代表者を出してディベートをしたりすることができます。語学以外の授業でも是非ご活用下さい。

「小スタジオ」は7階の一番奥にあります。演劇の上演、ドラマの授業、各種プレゼンテーションの収録等に使われています。昨年度は法学部・外国語学部合同のシェイクスピア劇もここで上演されました。定員80名という狭い空間ですが、一体感を醸し出せる素晴らしい空間でもあります。通常の授業でこの部屋を利用する先生もおられます。



昨年度は開設初年度であったため、総勢数十名のTA（ティーチング・アシスタント）と呼ばれる補助要員（ほとんどが工学部の学生・院生さん）に授業補助に当たってもらい活躍していただきました。おかげさまで大きなトラブルもなく、教員や学生さんには大変好評でした。大学側の配慮にはこの場を借りてあらためて深く感謝したいと思います。TAを使った授業は欧米では当たり前ですが、その用途も「機械トラブルに対応する」という日本的な概念とは違い、授業担当者が一人でできないユニークな教育手法を可能にするためのものです。例えば教室の中で、グループに分かれて異なった作業を同時進行したり、週に2回のうち1度は教員が行い、残りの1回はTAが担当し、学生のレベルや興味に即した授業を模索したり、とにかく「ユニーク」で「思考力がつく」授業を構築しようとしています。教材の作り込みにも年齢の近いTAの感性が大いに役に立ちます。こうした優れた制度は今後も是非維持・発展いただきたいと考えています。それがこれからの本学の発展のみならず、日本の大学の教育力の大きな源になると確信しています。

他大学でもこうした外国語マルチメディア教育施設は、最近の外国語教育重視の施策に則って必ずと言ってよいほど設置されています。しかし「箱物」行政的な管理運営をする大学では、教員が利用を避ける傾向があり、出来上がっても利用されていないケースは枚挙にいとまがありません。幸い本学では、昨年度9時から16時までの「コア時間帯」にはCALL4室とも毎日ほぼ満杯の利用状況でした。語学科目が集中する特定の「ラッシュ時間帯」（月曜全日、火曜2・3限、金曜2・3限など）には希望しても利用できないケースも多く、4室あってもまだ足りない状況です。外国語教育にとってこのようにうれしい状態が続くためにも、CALL準備室のスタッフの存在と働き、メディアセンターの支援は欠かすことができません。

今後の課題としては5時限目以降の自習時間帯の拡大や、週末・長期休暇中の地元小・中・高等学校への施設開放などが考えられます。さらに外国語教育だけでなく、さまざまな学会の開催や地域行事の運営などにも対応できれば、全学共通利用施設としての価値は格段に高まると思います。どうぞこれからも理解とご支援をよろしくお願いいたします。



(P.2 つづき)

その他のアプリケーションソフトインストール状況とプリンタ台数は以下の表をご覧ください。

情報処理教室 場所・PC 台数	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
	10号館5階				10号館4階			
	各102台		各72台		各20台		120台	
アプリケーションソフト等								
Visual Studio 2005	○	○	○	○	○	○	○	○
Java2 SDK	○	○	○	○	○	○	○	○
TeX (WinShell)	○	○	○	○	○	○	○	○
Visual Studio 6.0 Professional	○	○	○	○	○			
C言語をはじめよう	○	○	○	○	○			
Auto CAD 2004	○	○	○	○	○	○	○	○
JW_CAD	○	○	○	○	○	○	○	○
WATCOM COBOL				○	○			
The SAS System (統計パッケージ)					○			
プリンタ台数	3	3	3	2	2	1	1	4

枚方学舎情報処理演習室概要

パソコン

教卓パソコン 2台

プリンタ : 富士ゼロックス DocuPrintC3540 5台

初期値はモノクロ・トナーセーブモードに設定

OS : Windows XP Professional

Office : Office2003 Professional

教卓からの VHS、DVD、MD、カセットテープの再生可能

デジタルボードの設置

ボードに書いた内容を、教材提示モニタに表示するこ

とができるので、後ろの席に座っていても内容が見えます。また、ボードの内容を印刷することができます

CBTの導入

薬学部学生が薬剤師の知識・技能などを学習する参加型実習システムを導入しました

薬学部情報処理演習室

パスワード再発行申請

プリンタの印刷枚数の上限更新

教室パソコン・プリンタ等のトラブル

【場所】枚方学舎 5号館3階

【窓口時間】月～土 9:00～18:00

【スタッフ】武久

英語教育施設概要

CALL 教室1～4には情報処理室と同様の教材提示装置の他、プロジェクターを設置しています。

CALL 教室 場所	1	2	3	4
	10号館7階			6階
	48台	各60台		
使えるソフト・機能				
Office2003 Professional Word/Excel/Access/PowerPoint	○	○	○	○
中国語音声朗読ソフト	○			○
英語音声朗読ソフト	○	○	○	○
TalkNow はじめてのインドネシア語				
TalkNow はじめてのスペイン語				○
TalkNow はじめてのフランス語				
耳で覚えるスペイン語/フランス語				
DVD・VHS・カセット教材の使用	○	○	○	○
MD教材の利用	○			○
教卓・学生 PC での VOD 再生	○	○	○	○

CALL 教室の他、小スタジオ(7階)があります。撮影した映像を、DVD ディスクや VHS テープなどに残すことが可能です。また、講義を録画し、DVD ディスクへの保存やビデオオンデマンドで配信する等、授業アーカイブの作成にも利用できます。

CALL準備室

ソフトレコーダーの使用方法

プリンタの印刷枚数の上限更新

教室パソコン・プリンタのトラブル

CALL 教室・小スタジオ・語学ゼミ教室

の鍵の貸し出し

【場所】10号館6階

【窓口時間】月～金 8:30～18:15

【スタッフ】後藤・寺内・宮崎

スカイラウンジで無線LAN

メディアラウンジ、図書館(10号館)、スカイラウンジ(11号館)では、持参したパソコンで無線LANに接続することができます。(有線LAN接続も可能です。)接続のための説明書を学生サポートデスクに置いてありますのでご利用ください。

お知らせ

◆個人専用領域(マイドキュメント)の容量変更

工学部所属学生	200MB
その他学生	50MB
教員	2 GB

これにより、工学部ユーザーのCAD演習室管理者への申請が不要になり、工学部Yドライブは廃止となりました。

◆メール領域の上限値設定

学生ユーザーに対して、メール領域を50MBに設定しました。受信メールを大量に放置している一部のユーザーが原因で、メールサーバーの圧迫を生じさせているためです。このため、50MBに達するとメールの受信ができなくなります。重要なメールを受けられないことが生じますので、常に使用領域の確認と整理をしてください。

◆プリンタの利用

情報処理室、CALL教室のプリンタにはA4サイズ用の紙のみセットしています。各ユーザーに500枚の出力制限をしています。両面、2アップ印刷を行うと、出力カウントを押さえることができますので提出物以外の出力はそれらの方法で行い、用紙節約にご協力ください。資料集め、レポート課題、卒業論文などに活用してください。

出力した用紙のヘッダ部分に印字されるユーザーIDは削除することができません。卒業論文の清書は自宅や研究室のプリンタをご利用ください。

印刷物の無駄遣いや勉強に関係のない出力が目立ちます。また、個人情報や載っている印刷物を放置している光景を見かけます。情報の取り扱いについては各自、責任を持ってください。

◆利用手引きの発行

情報メディアセンター利用の手引きを発行しました。10号館の教育施設(情報処理・英語・CAD)について解説をしています。当事務室に置いてあります。

情報処理室・CALL教室スケジュール

スケジュール表の×印は授業で使用します。網掛け部分は閉室します。

×以外は授業や講習で利用できます(利用の際は、情報メディアセンターにて利用計画書を提出してください)

曜日	教室	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7
月	1	×	×		×	×		
	2	×	×	×	×	×		×
	3	×	×	×	×	×	×	
	4	×		×	×	×	×	
	5	×	×	×	×	×		
火	1	×	×	×	×			
	2	×	×				×	
	3	×	×	×				
	4	×	×	×	×	×		
	5							
水	1	×	×	×				
	2	×	×	×	×	×	×	×
	3		×	×	×		×	
	4	×	×	×	×	×	×	×
	5	×		×		×	×	×
木	1	×	×		×	×		
	2	×			×		×	×
	3	×	×	×	×		×	
	4		×			×		
	5							
金	1	×		×	×			
	2	×		×	×			
	3	×	×	×	×	×		
	4	×	×	×	×	×		
	5							

曜日	教室	CALL1	CALL2	CALL3	CALL4
月	1	×	×	×	×
	2	×	×	×	×
	3	×	×	×	×
	4	×	×	×	×
	5				自習可能
火	1		×	×	×
	2	×	×	×	×
	3	×	×	×	×
	4		×		自習可能
	5				×
水	1				自習可能
	2	×	×	×	自習可能
	3		×	×	×
	4	×	×	×	×
	5				自習可能
木	1		×		×
	2		×	×	×
	3				×
	4		×		自習可能
	5			×	自習可能
金	1		×	×	×
	2	×	×	×	×
	3		×	×	×
	4		×	×	自習可能
	5			×	自習可能

摂南大学
 情報メディアセンター事務室(10号館4階)
 072(839)9113 center@cc.setsunan.ac.jp